清く広く高らかに

第１４号　　令和５年１２月５日（火）

柏原市立堅下南中学校　校長室だより

４年ぶりのふれあい訪問（手作りカレンダー・お手紙・お花のプレゼント）

11 月 22 日（水）に実施された、ふれあい訪問。校区内にお住いの一人でお住いになられている高齢者宅（144 件）を地域の福祉委員さんと一緒になって訪問しました。本校では、お年寄りの方々を元気づける取り組みを伝統行事として実施しています。コロナ禍では、中学生が作成したカレンダー等を福祉委員の方を通じて渡してもらっていましたが、今年は、ようやく直接渡すことが叶い、中学生にとっても、お年寄りの方にとっても、有意義な時間を過ごすことができたと思います。

様子として、中学生の訪問を心待ちにしていただいていた方も多く、過去にプレゼントしたカレンダーを玄関に大切に貼っていただいているところを、わざわざ見せていただけるお家もありました。これらの交流を行うことにより、高齢者を思いやる気持ちや、いたわる気持ちとともに、高齢者への感謝や尊敬の気持ちを育むことができます。

他方、高齢者の方にとっても交流を通して心の充足や生きがいを得ることができ、日々の生活に活力をもたらす重要な機会となっていると福祉委員の皆さまからお聞きします。交流を通して、自然と挨拶が交わされ、地域に根ざした南中生として、成長していくことを願っています。

１年生数学の先生が着任されます。

現在、お休みを頂いております数学科の北川幸志先生に代わり、１年生の数学科を授業して頂ける先生が決まりました。お名前は、田村　壽（たむらひさし）先生と言います。最初の授業は 11 日（月）以降になる予定です。月、火、水の午前中しか勤務されませんので、生徒の皆さんで質問等がある場合は、ご注意ください。なお、３年生の数学は、引き続き吉井先生に授業をして頂くことになります。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

「ふりかえり」から学ぶ

今年も残すところ後わずかとなりました。学活の時間や専門委員会、部活動等、あらゆる場面で「ふりかえり」が行われることと思います。本校では、「ふりかえり」を大切にしています。授業の「ふりかえり」をすることは、今日の授業における自分の学びや成長への気づきを促すことになり、より深い学びへと繋がります。一日の最後の終学活でも「ふりかえり」を行っています。仲間と関わり合いながら個人や学級の課題を解決していくことで、個人も集団も成長できます。

これはある会社での例ですが、1 日の終わりに振り返りを 15 分行う従業員と行わなかった従業員を比較したところ、10 日後には、２３％のパフォーマンスの向上が見られたという、データがあります。このように、日常的に振り返りを行う習慣を身につけることで、確かな学力と生きる力の向上に繋がっていきます。これからも、本校では「ふりかえり」を、大切にした教育活動を行っていきます。

さて、19 日（火）から２学期末懇談会が予定されています。お子様の２学期を３者で「ふりかえり」成長を確認し合い、次のステップへと繋がる時間にしたいと思います。

よろしくお願いします。

避難訓練（火災想定） ①早く知らせる ②早く消す ③早く逃げる

12 月４日（月）消防署の方の立会いのもと、避難訓練を実施しました。今回の訓練は火災を想定したもので、水消火器を用いて代表生徒による消火訓練も行いました。「火事だー」と、鬼気迫る叫びに、少し笑いも起きていましたが、周りの人に知らせることができる大変良い声でした。「備えあれば憂いなし」という言葉もありますが、日頃の準備が大切であるという事です。いざという時、或いは予期せぬことに遭遇した時に、まずは、自分の命を守り、そして身近な人の命を守る、こうした常に自助、共助の心を持った人であって欲しいと思います。